

6. 作業中止基準

下表のとおり庄川・太田護岸災害復旧工事における作業中止基準等を設定します。

気象	条件	注意基準 (監視強化)	警戒基準 (作業中断・待機)	作業中止基準 (退避)	作業再開基準	監視方法	現場での措置・対応方法
降雨	1回の降雨量 (連続雨量)	30mm以上	40mm以上	50mm以上	降雨が止んだ後、現場を巡視点検確認し異常が認められず、統括安全衛生責任者あるいは代理者(元方安全衛生管理者)が安全と判断した場合作業再開	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場事務所の雨量計</li> <li>気象情報(インターネットHP等)</li> <li>川の防災情報</li> <li>庄川(雄神水位観測所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①作業場所及び周辺状況の点検確認を行います。</li> <li>②必要な箇所は補強を行い、必要に応じて立入禁止措置を行います。</li> <li>③流出の恐れがある資材、重機は堤防天端付近に移動します。</li> <li>④ダンプトラック・生コン車は作業中止とし帰社させます。</li> <li>⑤大雨が連続する場合や休日、夜間に河川が増水する場合は現場巡回を行うとともに仮設物の流出防止措置を行えるよう下請業者との連絡体制を確立します。</li> </ul>
	1時間の降雨量	10mm以上	15mm以上	20mm以上			
	24時間の降雨量	100mm以上	120mm以上	150mm以上			
	防災情報	大雨注意報発令時	大雨警戒発令時	大雨警報発令時			
河川水位	雄神 水位観測所	4.2m以上の水位	4.5m以上の水位	4.7m以上の水位	作業中止基準を下回り、ダム の放流量の確認及び気象 庁等による情報収集して、 河川増水状況及び仮締切の 状態の安全確認後	<ul style="list-style-type: none"> <li>川の防災情報</li> <li>現場水位計</li> <li>現地または河川カメラによる 目視での確認</li> <li>河川カメラ(インターネットHP)</li> <li>庄川(太田)</li> <li>庄川(雄神大橋)</li> <li>庄川(雄神橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥雄神水位観測所の水位を参考に3時間後に中止基準に達すると予想される場合は資材を高水敷または現場事務所に移動します。 (現場水位とのタイムラグ約3時間)</li> <li>⑦速やかに避難できるよう、現場入場時(新規入場者教育)や毎月の安全教育にて緊急時の体制の周知を行います。 また、実践訓練にて緊急時の避難を実際に行い、移動にかかる時間を正確に記録します。</li> </ul>
	庄川合口ダム 流量観測所	流量200m <sup>3</sup> /sに達し 更に上昇の恐れがある時	流量280m <sup>3</sup> /sに達し 更に上昇の恐れがある時	流量360m <sup>3</sup> /sに達し 更に上昇の恐れがある時			
	仮締切天端	1.0m～下がり	0.5m～1.0m下がり	0～0.5m下がり			
	防災情報	大雨洪水注意報発令時 放流時サイレンが鳴った時					
降雪	1回降雪量 (連続降雪量)	15cm以上で 今後も激しく降り続く時	20cm以上で 今後も激しく降り続く時	25cm以上で 今後も激しく降り続く時	降雪が小康状態となり、除 雪可能な状態が確認できた 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場の積雪計(スタッフ)</li> <li>気象情報(インターネットHP等)</li> <li>富山県積雪情報(砺波)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①工専用道路、河床進入路等路肩には幅員を示す路肩ポールや鉄ピン・トラロープを設置し視認性を高めます。</li> <li>②看板や掲示板等に付着した雪は見つけ次第払い落します。</li> </ul>
		大雪注意報発令時	大雪警報発令時				
強風	クレーン作業 10分間の 平均風速	5m/s以上	6m/s以上	10m/s以上	警報解除後、現場にて風速 が8m/s以下であることを確 認  クレーン作業においては風 速が6m/s以下であることを 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場内吹流し</li> <li>ハンディ風速計</li> <li>気象情報(インターネットHP等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①予期しない強風が吹き始めた場合は作業を一時中止します。</li> <li>②強風時は再度保安施設の点検確認を行います。</li> <li>③資材の飛散が予想される場合は飛散防止措置を施すと同時に安全確保の為、監視します。</li> <li>④強風下での警戒及び巡視は2名以上で行います。</li> </ul>
	一般作業 10分間の 平均風速	7m/s以上	8m/s以上	10m/s以上			
	防災情報	上記風速または 強風・風雪注意報発令時	上記風速または 強風・風雪警報発令時	上記風速または 強風・風雪警報発令時			
濃霧	視界	霧が確認された時	現場で視程100m未満 になった場合	現場で視程50m未満 になった場合	視程が50m程度まで回復 した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>KPを目印に監視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①元請職員が目視によりKPにて確認し中止、再開の指示をします。</li> </ul>
地震	震度	震度観測点 砺波市 震度2以下	震度観測点 砺波市 震度3以上	震度観測点 砺波市 震度4以上	点検を行い、異常がない ことを確認した時	<ul style="list-style-type: none"> <li>報道機関の地震情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地震が発生した場合は作業を一時中断し堤防上に避難します。</li> <li>②作業開始時は点検を行ない安全が確認された後、統括安全衛生責任者の指示により作業を再開します。</li> </ul>
高温	熱中症指数計 (WBGT温度)	WBGT温度 21℃～25℃	WBGT温度 25～31℃	WBGT温度 31℃以上	小休憩をいれ、水分補給・ 塩分補給を行った後、作業 員の体調チェックを行い問 題がなかった場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱中症指数計</li> <li>気象情報(インターネットHP等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①朝礼時に環境省 熱中症予防情報サイトから発表される情報を周知し熱中症危険度の意識を高めます。</li> <li>②休憩所には飲料水、塩飴などの熱中症対策用品を用意します。</li> <li>③こまめな水分補給を意識しお互いの顔色、健康状態を確認します。</li> </ul>
雷	雷検知機 【ストライクアラート】	雷光から音が鳴った時	雷の発生位置が 40km圏内になった時	雷の発生位置が 20km圏内になった時	雷の発生位置が20km圏内か ら離れた時	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場で雷鳴、雷光の確認</li> <li>雷感知器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①避難の際は堤防上・木の傍には避難しないようにします。</li> <li>②現場で雷鳴と雷光が確認されなくなった後、統括安全衛生責任者の指示により作業を再開します。</li> </ul>